

第3次がん対策推進計画(2018-2023) 概要

1 計画策定の趣旨

生活習慣の改善やがん検診の受診勧奨を始めとするがんの予防・早期発見対策や、がん診療連携拠点病院等を中心とした専門的ながん医療の提供、がん患者等に対する相談支援体制の整備を図るなど、総合的かつ計画的にがん対策を推進するため、第3次沖縄県がん対策推進計画(2018-2023)を策定。

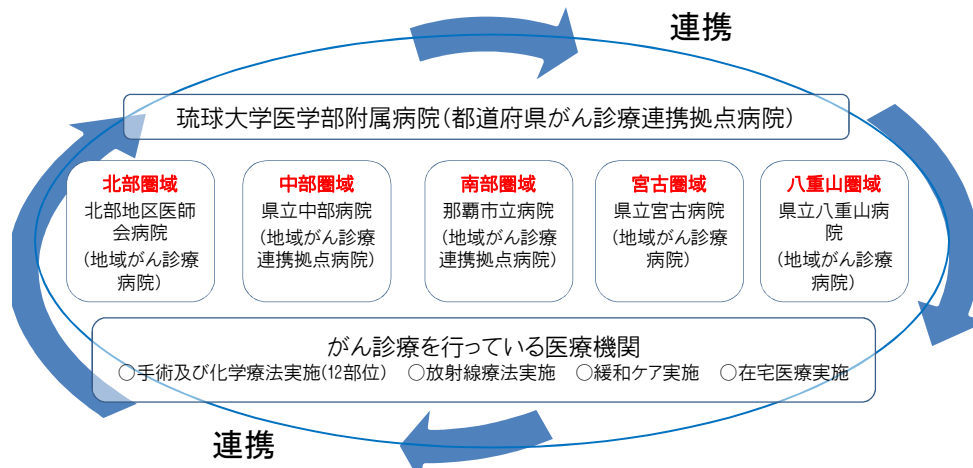
2 計画の位置づけ

- がん対策基本法第12条に基づく「都道府県がん対策推進計画」。
- 「沖縄21世紀ビジョン基本計画・実施計画」の個別計画として、基本計画及び実施計画で掲げる施策展開を図る。
- 関係個別計画等と整合するがん対策の推進に関する計画。
 - ・沖縄県医療計画 ・健康おきなわ21 ・沖縄県高齢者保健福祉計画
- 県の今後のがん対策の基本的な施策を示すもの。
- 市町村のがん対策の行政施策の指針となるもの。
- 県民、保健医療団体等には、その自主的な活動、行動を推進する役割。
- 計画期間は、2018年から2023年までの6年間。
- がん医療を取り巻く環境に著しい変化が生じた場合は、内容を見直す。

3 進行管理

- 計画の進捗管理に関するPDCAサイクルを回し、施策に反映。
- 計画の進捗管理のため、3年を目途に中間評価を行う。

がん診療連携体制



4 がん対策推進計画の主な項目

第1章 全体目標

- 1 科学的根拠に基づく、がん予防・がん検診の充実
- 2 患者本位のがん医療の実現
- 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万人あたり)			
	現状	目標	差
男女	73.3	65.0	8.3

第2章 分野別施策

- 1 科学的根拠に基づく、がん予防・がん検診の充実
 - (1)がんの予防
 - (2)がんの早期発見、がん検診
- 2 患者本位のがん医療の実現
 - (1)がん医療と人材育成
 - (2)医療提供体制
 - (3)在宅医療
 - (4)がんと診断された時からの緩和ケア
 - (5)ライフステージに応じたがん対策
 - (6)希少がん、難治性がん(それぞれの特性に応じた対策)
 - (7)離島及びへき地対策
- 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
 - (1)相談支援、情報提供
 - (2)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
 - (3)がんの教育、普及啓発

喫煙率		
	現状	目標
男	29.6	半減
女	7.8	

がん検診受診率		
	現状	目標
胃	41.4	50%
大腸	35.6	
肺	43.6	
子宮	47.5	
乳	50.7	



第3章 総合的かつ計画的に推進するための必要事項

- 1 がん登録について
- 2 計画の進捗管理体制について